




(1) 【地方本部区域毎の社員】の立候補者【詳細版】※提出は任意です (A4判1ページ)

●地方本部区域毎の社員の立候補者 (所属支部名 東京都)					
①コールサイン	: 7L4WVU				
②氏名 (フリガナ)	: 原口 忠 (ハラグチ タダシ)				
③年齢	: 64歳				
④職業	: 自営業 (前職:外資IT企業 プロジェクトマネージャー PMP®)				
⑤無線従事者資格	: 第1級アマチュア無線技士、第一級陸上無線技術士				
力を入れている無線活動					
<p>① 自作の楽しさを広めるため、AKC(アマチュアキットクリエイターズ)メンバーとともに全国のイベントに出展。移動に便利なアンテナアナライザー、Ashi Paddleや小型アンテナなどオリジナル品を開発して頒布。多くのアマチュア無線愛好家の方々と交流しています。JARL QRPクラブでも活動中。</p> <p>② 無線は自作でも十分楽しめることをPRしています。自作機でDXは330エンティティと交信。POTAアクトベーションではQRP自作機とロッドアンテナで全国700か所の公園に移動して1万局とQSO。</p> <p>③ 製作や運用をYouTube動画、ブログやXで発信。イベントで自作関連の講演や技術記事執筆なども</p> <p>④ 国内外の青少年アマチュア無線活動を頒布で得られた収益の一部を使って支援しています。</p>					
JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)					
<p>1. JARLの持つ課題に対する貢献</p> <p>現在、JARLは会員数の減少や高齢化、活動の停滞など多くの課題に直面しており、時代に即した見直しと実行が必要と考えています。SNSやイベントなどでお会いする多くの皆様の声を吸い上げるとともに長年のプロジェクトマネジメント経験から組織運営上の無駄がないか監視、課題に基づく改善提案を行います。加えて、毎日のように発信しているSNSを活用して皆様に情報を展開します。</p>					
<p>2. 「自作」という原点からの活性化に貢献</p> <p>Arduinoや3Dプリンター普及で製作に興味を持つ多くの若い世代は増加、全国のモノづくりイベントはどこも盛況を帯びています。本来、アマチュア無線は自作が原点ということもあり、アマチュア無線の自作を知ってもらうためにMaker faireなどにも出展してPRを行いました。彼らにアマチュア無線を知ってもらい、ベテラン会員の豊富な知識と経験を次世代へ伝える製作会や技術体験イベントなどで交流ができれば、アマチュア無線の年齢層の拡大ができると信じています。</p>					
<p>3. ハムフェアやイベントの活性化における貢献</p> <p>参加者が多くアマチュア無線の絶交のPRの機会にあるハムフェアは、あまりにも出展費用が高く、小人数のグループや若者のモノづくり愛好家達は参加したくてもできません。出展費用を低減するためにこれまでのコスト構造を分析し無駄を省き、イベントの活性化を踏まえた展示方法などについても会員の皆様の意見を聴いて提案していきます。</p>					
<p>4. ARDFの普及のための貢献</p> <p>若者も多く参加しているARDFは、免許不要で広くアマチュア無線を知ってもらう有効な手段ですが、メーカーが撤退しており装置が簡単に入手できない問題に直面しています。これらを解決すべく自ら安価なキットを開発して頒布、製作講習会なども企画することを進めています。</p>					
<p>5. SNSやメディアを使った情報発信</p> <p>数千名のフォロワーを持つ、動画、ブログ、そしてX(Twitter)、イベントでの講演、そしてモノづくりに関する雑誌記事なども執筆しています。これら媒体を使った情報発信に努めます。</p>					
	ブログ		YouTube		X(旧Twitter)